

2019 年 3 月

指導者の皆様

公益財団法人日本バスケットボール協会
スポーツ医学委員長 森 淳
【公印省略】

マルファン症候群の理解促進に関するお願い

時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素より、当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今、突然死を来すような疾患を持ちながら競技バスケットボールに参加している事例が増加しており、死亡例も確認されております。一般的に若年アスリートの突然死で多い肥大型心筋症や致死性不整脈に加え、バスケットボールのように長身者が多いスポーツにおいて注意すべき点として、マルファン症候群を含めた潜在的に存在する心大血管疾患が挙げられます。そこで、当協会では、健全な選手育成と共に、スポーツ活動のみならず日常生活における突然死を予防するために、マルファン症候群に関する情報提供と啓発活動を行っております。つきましては、指導者の皆様には、保護者の皆様にも送らせていただいている、別紙「マルファン症候群に関する注意」を確認していただき、マルファン症候群についての理解を深めて頂きたく存じます。

なお、2017年度からは育成センター事業に参加する選手/保護者の皆様には問診票（緊急時連絡カード）の記載及び同意書の記入/提出をお願いし、保護者自身によって選手が事業に参加できるかどうかをチェックして頂くシステムに変更致しました。指導者の皆様におかれましても是非ともマルファン症候群について理解を深めて頂き、バスケットボール界における事故防止にご協力いただけると深甚です。

皆様のご理解とご協力を感謝申し上げます。

<問い合わせ先>

公益財団法人日本バスケットボール協会
基盤強化グループ育成普及担当：山本・佐藤
スポーツ医学委員会担当：深尾
TEL：03-4415-2020（9:30-17:30）
E-mail：jba-youth@basketball.or.jp